

## 第2部 実践研究

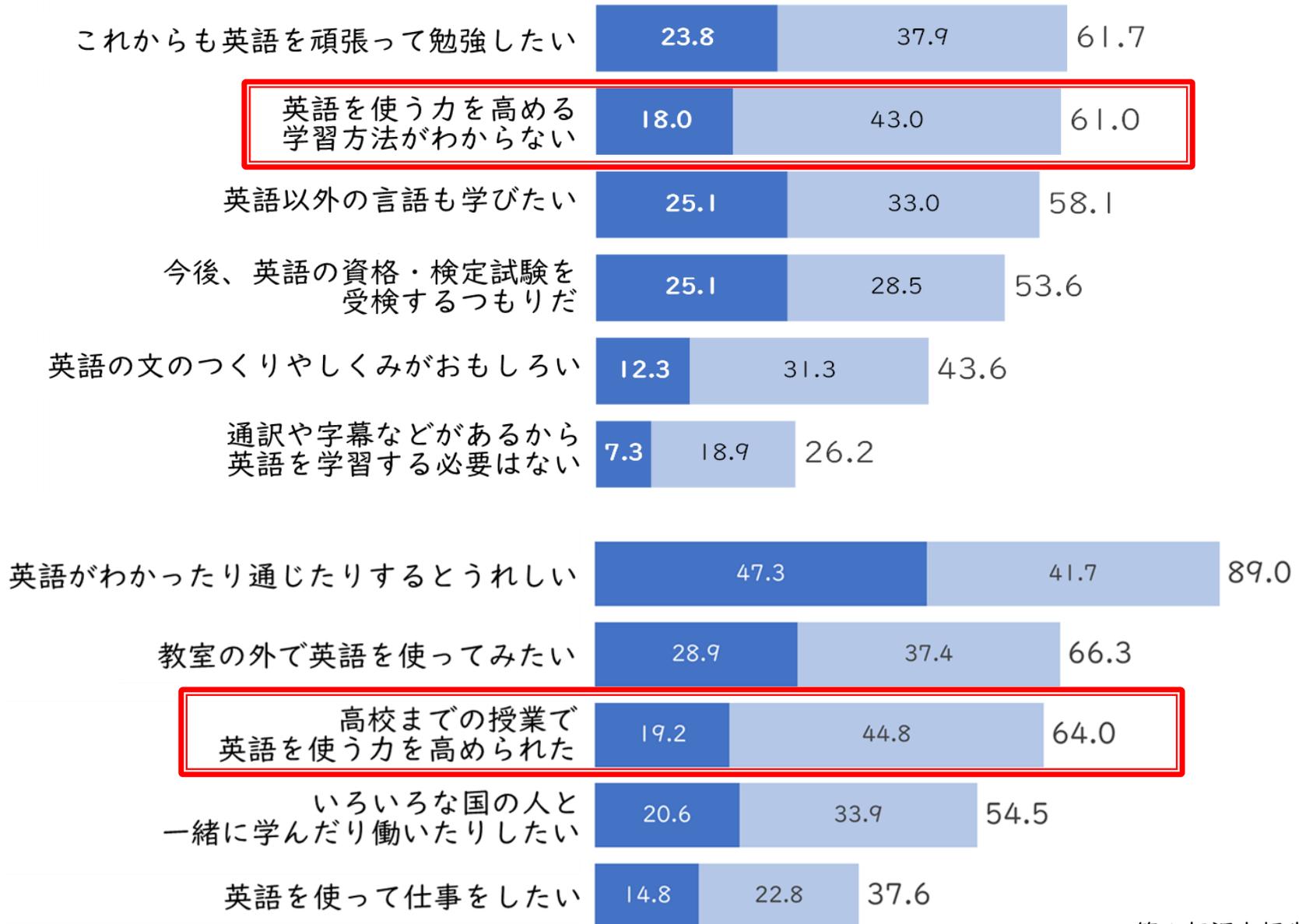
# 授業を通して、どう英語学習者を 育てていくか

発表者：長沼 君主（東海大学）  
工藤 洋路（玉川大学）  
津久井 貴之（大妻中学高等学校）

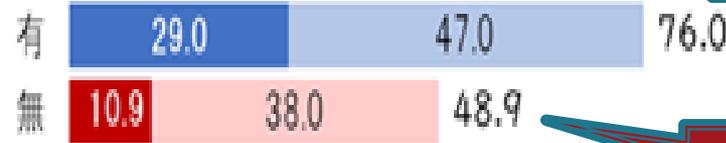
## 第2部の流れ

1. 研究の背景（工藤）
2. 【ワークショップ】  
スピーキングの評価・FB体験
3. 実践の報告（津久井）
4. 実践の考察（工藤）
5. まとめ（長沼）

# 研究の背景



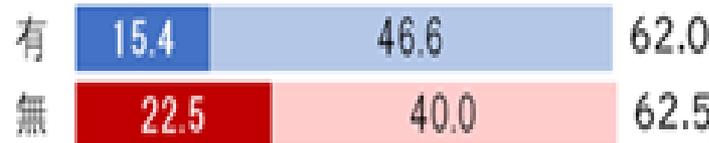
高校までの授業で  
英語を使う力を高められた



言語活動あり

言語活動なし

英語を使う力を高める  
学習方法がわからない



言語活動あり

言語活動なし

第1部調査報告より

高校までの授業で英語力を高められたとある程度感じているのに、英語力を上げる方法がわからない

先生がいないと学習ができない？

先生は言語活動中心の授業を行うだけではダメ？

## 「中学校学習指導要領（平成29年告示）」

### 目標（3）

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」

### 目標（3）

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、**自律的に**外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## 『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編』

高等学校では、中学校における「主体的」に加え「自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度」としている。これは、外国語科の特性として、目標を達成するための言語活動において他者とのコミュニケーションが必要とされるが、学習内容等が高度化・複雑化する高等学校においては、授業等において言語活動を通して実際にコミュニケーションを図るだけでなく、それらのコミュニケーションを通して自分にはどのような力が足りないか、どのような学習が更に必要かなどを自ら考え、それぞれが授業での言語活動を充実させるための努力を授業外でも続けようとするより自律的な態度が一層強く求められることと関連している。

# 「支援あり」から「支援なし」へ

(例) 「聞くこと ア」の目標

英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ
<p>日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p>	<p>日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p>	<p>日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p>

# 「支援」の内容

領域	内容
聞くこと	話される速さや，使用される語句や文，情報量など
読むこと	使用される語句や文，情報量など
話すこと [やり取り]	使用する語句や文，対話の展開など
話すこと [発表]	使用する語句や文，事前の準備など
書くこと	使用する語句や文，事前の準備など

# 「支援」の内容

領域	内容
聞くこと	使用する語句や文, 使用される語句など
読むこと	使用する語句や文, 情報量など
話すこと [やり取り]	使用する語句や文, 対話の展開など
話すこと [発表]	使用する語句や文, 事前の準備など
書くこと	使用する語句や文, 事前の準備など

モデルの対話例を提示しないようにしていく

対話の展開

# 「支援」の内容

領域	内容
聞くこと	話される速さや、使用される語句や文、情報量など
読むこと	使用される語句や文、情報量など
話すこと	話される速さや、使用される語句や文、対話の
話すこと [発表]	話される速さや、使用される語句や文、事前の準備など
書くこと	使用する語句や文、事前の準備など

ブレインストーミングの手法や  
アウトラインの作成方法などを  
提示しないようにしていく

事前の

準備など

# 自律した学習者を育成するための教師の役割の1つ

⇒ **学習ストラテジー**を身につけさせる

(*Lessons from Good Language Teachers* の Ch.14: Language Learning Strategies and Good Language Teachersより抜粋)

## Teacher's role

- provide target language knowledge to their learners
- play a central role in helping them to become strategic and self-regulated in their learning

## Learning strategies

- not always selected by language learners automatically
- may not be the right ones for a particular task

【ワークショップ】  
スピーキングの評価および  
フィードバック体験

## Aさん 1回目

Which do you think is a better way to communicate, emails or letters?

I think sending emails is good, is a good way to communicate, communicate. It's easy to ... send ... send you ... when ... when I want to communicate with friends. あー、どうしよう。 ... It is quickly to send ... my friend. ... 何だろう。 ... It's ライト.

## Bさん 1回目

Which do you think is a better way to communicate, emails or letters?

I think letters is better way to communicate because uh ... writing letter is so meaningful. Uh ... if you send emails, you have to write a word with hand, so I can tell, I can tell, (Friend?) I can tell friends my mind more. (Oh, I see.) Thank you for listening. (You're welcome.)

※ ( )内はペアの相手の発話

## Aさん 2回目

### Which is more important for YOU, emails or letters?

I think that letter, email is better way to communicate. You can tell a message anywhere by email. You may ... you may be able to get your computer skill, so you will contribute to finding a good job and your future career. Email is ... can ... email can easy and quick to send, so you can have free time. Email help you to ... help you to build a good relationship, ... so I think that email is important for you. Thank you for listening.

## Bさん 2回目

### Which is more important for YOU, emails or letters?

I think letters are a better way to communicate because uh I can tell my mind to my friend more clearly, and it made something that I ... that you can hold, so you can read whenever you want to do. I think letters is more important for me. The day before yesterday is my birthday, so I got many Congratulations emails, I felt happy. However, yesterday, I got some letters. I felt more happy, so letters are more important for me. It brings me happiness. Thank you.

# Aさん

1 回 目	I think sending emails is good, is a good way to communicate, communicate. It's easy to ... send ... send you ... when ... when I want to communicate with friends. あー、どうしよう。 ... It is quickly to send ... my friend. ... 何だろう。 ... It'sライト.
2 回 目	I think that letter, email is better way to communicate. You can tell a message anywhere by email. You may ... you may be able to get your computer skill, so you will contribute to finding a good job and your future career. Email is ... can ... email can easy and quick to send, so you can have free time. Email help you to ... help you to build a good relationship, ... so I think that email is important for you. Thank you for listening.

# Aさん：振り返りと学習目標

<p>1回目 を振り返って 感じる 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日本語途中しゃべったこと</li><li>● テンパったこと</li><li>● いうことをまとめてから話してないこと</li><li>● 考える時間が長いこと</li><li>● 文法</li><li>● 身振り</li></ul>
<p>2回目 に向けての学 習目標</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 文と文の隙間時間をなるべく少なく</li><li>● 次までに言うことを考え、4回練習する 土・日・月・火、寝る前</li><li>● 聞き手に伝わりやすい英語で話せるか</li><li>● 日本語を言わないようにする（1人で or 親に話す）</li></ul>

# Bさん

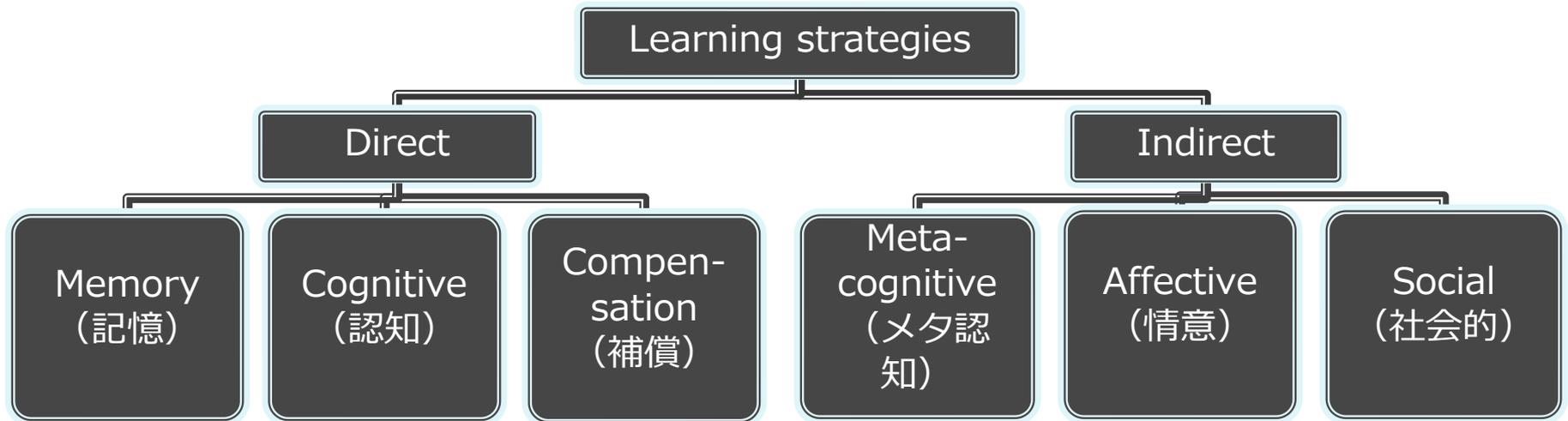
1 回 目	I think letters is better way to communicate because uh ... writing letter is so meaningful. Uh ... if you send emails, you have to write a word with hand, so I can tell, I can tell, (Friend?) I can tell friends my mind more. (Oh, I see.) Thank you for listening. (You're welcome.)
2 回 目	I think letters are a better way to communicate because uh I can tell my mind to my friend more clearly, and it made something that I ... that you can hold, so you can read whenever you want to do. I think letters is more important for me. The day before yesterday is my birthday, so I got many Congratulations emails, I felt happy. However, yesterday, I got some letters. I felt more happy, so letters are more important for me. It brings me happiness. Thank you.

# Bさん：振り返りと学習目標

<p>1回目を振り返って感じる課題</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● そもそも自分の考えがまとまっていないまま話したので、つまってしまった</li><li>● 身ぶり手ぶりが謎</li><li>● 相手に助言してもらった</li><li>● 語い</li><li>● e-mailとletters言い間違えたこと</li><li>● 終わり方</li></ul>
<p>2回目に向けての学習目標</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事前に当日言う内容を一通り書き出しておく</li><li>● それを言うにあたって使いそうな熟語や文法を調べる</li><li>● 当日単語で詰まらないように英単語の勉強は音声を付けながらする</li><li>● 話が詰まりそうになったら自分の体験したことや具体例を入れて話す</li><li>● 終わりに一言添える</li></ul>

# 津久井先生の実践の考察

## ～生徒の立てた学習目標の分析～



学習方略の分類 (Oxford, 1990)

→ この分類を参考にして、生徒たちが、2回目に向けて書いた学習目標を分類

## <気持ち・意気込み>

- 正しい英文が話せるように英文法の勉強を怠らない。
- 流暢に英語が話せなくてもまるで英語がペラペラな人のように話す。
- 対面になってテンパらないようにお風呂でイメージトレーニング(?)。
- 緊張してつまらないように弟を相手に練習する。

## <学習計画>

- 1日1分英語で録音する。
- 1回は1分を測ってスピーチを試してみる。
- すぐに自分の意見を言えるように自分で課題を設定して3日に一回練習する。
- 紙に大まかに書いて、それを使って本番まで最低2回練習する。
- 毎日何かしら英文を声に出して読む。
- 自分の声をボイスメモで録音し、どこで会話が詰まりやすいか確認してみる。
- スピーチをする練習をし録音し、2秒以上の沈黙があった時に何を言おうとした時に詰まってしまったのか、またそれをどのように防げたのかを分析したうえでもう一度録音してどれほど改善できたかと同じ分析を行う。

## <学習内容（言語材料）>

- **形容詞**を覚える。
- well...などのつなぎの言葉も使えるようにする。
- 単語帳を眺めて、1つでも使える熟語、接続語などを見つけて、身につける。
- 自分がいま何を主語にして話しているのかを理解する。
- **冠詞**の使い方をチェックする。
- **仮定法**が正しく使えるように問題集などを見て文法を見直す。
- 前回一番できてなかった**仮定法**は四連休中に復習をする。
- 自分が間違えやすい文法（特に**比較**）の部分のBeを見直す。
- 2回連続で同じ文法を使わないようにする。
- 接続詞のバリエーションがsoだけなため、辞書で他にどんな接続詞があるか調べ、意味を確認する。
- 正しい英文が話せるように英文法の勉強を怠らない。
- Ted Talksを聴いていると、確信を持って自分の意見を言う際は I think という表現よりも I assume の方が多かった。

## <学習内容（言語材料以外）>

- なるべく早く、区切りを意識して発音する。
- 当日単語の発音で詰まらないように英単語の勉強は音声を付けながらする。
- 意味のある文節で区切って読む。
- 後で録音を聞き返しても自然にすんなりと英語が耳に入ってくるくらいに流暢に喋る。
- 音読練習
- 日本語の文章を考える。英文に直してみる。
- 前日までに話す内容をライティングをしてみる。
- 全体の構造（流れ）を作っておく。
- 意見、理由、まとめの一連が話せるように整理する。
- 話の最後は纏まるような話し方にしてみる。
- 自然な会話を成り立たせる為に会話中や始め、終わりに使えるフレーズを調べていくつか覚える。

## <学習内容（課題に特化していないもの）>

- 毎日何かしら英文を声に出して読む。
- 歩いている時、街中で思ったことや書かれている日本語を英語にする（形容詞が思い付かなかったため、形容詞中心に）。
- 英語で話すときだけでなく日本語を使うときでも、自分の立場や考えをしっかりともち、言語化できるようにする。

## <対策>

- 言葉に詰まったら接続詞を口に出す。
- 言葉をつまらせず話すために理由をいくつか考えておく。
- 沈黙をwellに変えて身振りを交えながら話す。
- 沈黙をつくらないように、話のネタをストックしておく。
- 話が詰まりそうになったら自分の体験したことや具体例を入れて話す。

## <相手意識や他者との関わり>

- 一文ずつを短くして意見をわかりやすくする。
- 聴いてもらう相手一人一人に向かって意見を伝えようとしている印象を与え、その意見に賛同してもらえるような説得力のあるスピーチにしたい。
- 相手に質問を問いかけてみる。
- きちんとアイコンタクトをとる。所々でジェスチャーを入れる。
- 終わる時楽しかったということを伝えるようにすることで締めをThank you以外で伝えることができる。
- 弟を相手に練習する。
- 親に話す。
- 相手の目を見て話すことを意識しながら発表をすることに慣れるために録音をする時は家族か友人の前で行い、聞き手側から見た私の伝える態度に関するアドバイスを願います。

# 自律した英語使用者の育成に向けて

本科目（「英語コミュニケーションⅢ」）では、英語使用者としての自律性を更に高める必要から、「英語コミュニケーションⅡ」における「一定の支援」を活用する段階から、ほとんど支援がなくても課題に取り組むことができる段階へと移行する。これは、生徒自身が、コミュニケーションの目的を達成するためにはどのように対応すべきかを判断し、支援がほとんどなくても自力で目的を達成できるようになる、あるいは必要な支援を他者に求めたり協働したりしながら、目的を達成することができるようになることを意味している。

『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説  
外国語編 英語編』

目的・場面・  
状況への意識

自力を高める

他者やツールに  
効果的に頼る